

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(芦城小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(山下 順子)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・ソフトウェアの講習の際、具体的な活用例を模擬授業形式で伝えたことで、それを応用した授業実践が行われることにつながった。
 ・研修の際に「情報交換」の時間を確保したことが、実践例の共有、アイデアの創出、不安感の払拭につながった。

課題

・児童が自由にタブレットを使えるようにするには、教室環境の整備、児童へのモラル指導がともに不十分である。モラルについては、学級担任のチェックリストの内容や、より効率的な方法について検討する必要がある。
 ・教員がGIGAタブレットを活用した授業を、気軽に見合える仕組みを整えることで、授業での活用の幅を広げる必要がある。

校内研修のアイデア

- ・学校研究との連携(理科・生活科におけるICTを使った授業研究・授業公開)
- ・教員のスキルアップ研修
- ・先行実践の情報共有(具体的な実践の様子や、成功・失敗についての情報共有)
- ・タブレットを活用することで授業改善が図られると思われる単元の検討

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【低学年】

- ・授業者が、動画や写真を提示することで、児童の課題や学習内容に対する理解が促進されている。
- ・授業者が、児童の作品を全体に提示することで、学びが深まっている。
- ・児童が、失敗をおそれずに作品作りを楽しんでいる。

【中学年】

- ・授業者が、動画や写真を提示することで、児童の課題や学習内容に対する理解が促進されている。
- ・児童が、ミニプリント等を活用して、基礎基本への習熟を深めている。
- ・児童が、失敗をおそれずに、すすんで試行錯誤を重ね、作品を作り上げている。
- ・児童が、自分の作品を発表したり、互いに見合ったりすることで、学びを深めている。
- ・カメラ機能を活用して、児童が自分の作品や動きを客観視したり、互いに教え合ったりしている。

【高学年】

- ・児童が、自らすすんで、教科書等以外からも情報を収集している。
- ・児童が、効率的に自分の考えをまとめるツールとして、タブレットを活用している。
- ・児童が、共同編集作業を利用して、効率的に協働学習を行っている。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・新たな授業づくり研修(新規採用教諭, 臨時的任用講師)[個人] ・GIGA副校長・教頭・部主事研修・GIGA校内研修推進リーダー研修[個人] ・理科におけるICT活用動画視聴[全体]	推進チーム 研究主任	
5月	・研修計画立案[推進チーム] ・タブレットを使用した授業実践[個人] ・研究授業(校内研修会)[部会・全体]	推進チーム 各教員 研究部	1年生を迎える会 校内研修会
6月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体] ・研究授業[部会・全体]	各教員 推進チーム 研究部	計画訪問
7月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体]	各教員 推進チーム	
中間目標	・全教員が、タブレットを用いた授業実践を行う。		
8月	・実践交流・他校の実践例の共有[全体]	推進チーム	
9月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体] ・研究授業[部会・全体]	各教員 推進チーム 研究部	校内研修会
10月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体]	各教員 推進チーム	運動会 6年自主プラン
11月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体] ・公開授業研究会[部会・全体]	各教員 推進チーム 研究部	小松市学力向上推進事業 公開授業研究会
12月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体]	各教員 推進チーム	
中間目標	・全教員が、タブレットを用いた授業実践を行う。		
1月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体]	各教員 推進チーム	
2月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・実践交流[全体]	各教員 推進チーム	6年生を送る会 各学年総合的な学習の時間の発表
3月	・タブレットを使用した授業実践[個人] ・今年度のまとめ	推進チーム	卒業式

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画(案)

(小松市)立(稚松)学校

GIGA校内研修推進リーダー(米岡)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・昨年度の校内研修により、多くの教員がタブレットのアプリの操作方法を理解している。
- ・授業中には、教員が拡大や師範を示すために活用することができている。

課題

- ・タブレット端末を日常的に使っている教員が少ない。
- ・アプリの操作方法是理解しているが、実際に授業の中でどのように使うのか、活用場面が漠然としている。
- ・教員間のタブレット活用に対する精神的ハードルが高い。

校内研修のアイデア

- ・GIGA研修推進チーム(推進リーダー、情報教育担当者、教務主任)が中心となり、研修を進める。
- ・実践交流を中心に、具体的な操作方法の説明、講師招聘による校内研修など。実践交流は、学年ごとに行い、活用するアプリを指定しながら行うことも検討する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【児童目標】

- ・タブレット端末を用いて、自分の考えを表現することができる。
- ・共同編集ツールを用いて、考えを交流し合い、考えを深めることができる。
- ・個別学習や思考表現、交流のツールの一つとして認識し、必要性を吟味して活用することができる。

【教員目標】

- ・児童がタブレット端末での学習を選択する際に、必要に応じた指導を行うことができる。
- ・全教員が日常的(低:週1回、中:週2回、高:週3回)に児童がタブレット端末を活用する授業を行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・SKYMENU、Qubena研修[異動者] ・タブレットオリエンテーションについて[全体]	推進チーム	・4/25(月)GIGA校内研修推進リーダー研修 ・第2週目タブレットオリエンテーション
5月	・授業実践交流～個人思考表現編～(5,4年)[全体] ・校内研修「情報モラル」[全体]	推進チーム	・5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	・授業実践交流～個人思考表現編～(6,2年)[全体]	推進チーム	
7月	・授業実践交流～個人思考表現編～(3,1年)[全体] ・1学期各学年実態把握	推進チーム	
中間 目標	【児童目標】 全児童がタブレット端末のアルファベット入力や描画ツールを用いて思考を表現することができる。 【教員目標】 教員間のICT活用実践力の差を解消する。		
8月	・職員会議ペーパーレス化[全体] ・ICT活用指導力強化事業モデル校の活用授業視聴[全体]	推進チーム	
9月	・授業実践交流～共同編集編～(5,2年)[全体]	推進チーム	・9/13(火)GIGA校内研修推進リーダー研修 ・校内授業改善週間
10月	・授業実践交流～共同編集編～(6,3年)[全体]	推進チーム	
11月	・授業実践交流～共同編集編～(4,1年)[全体]	推進チーム	
12月	・授業実践交流～共同編集編～(特別支援学級、級外)[全体] ・2学期各学年実態把握	推進チーム	
中間 目標	【児童目標】 協同編集ツールを用いて考えを交流することができる。 【教員目標】 全教員が週に1回以上児童が活用する場面を取り入れた授業を行うことができる。		
1月	・講師招聘校内研修[全体]	推進チーム	
2月	・年間取り組みのまとめ～今年度の成果と課題～[全体]	推進チーム	
3月	・次年度へ向けて[全体]	推進チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(安宅小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(梶)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・若手教員が多く、比較的風通しのよい雰囲気が教員間にある。
- ・ベテラン教員は、若手教員と共に学び合おうという意識をもっている。
- ・ICT機器の整備が、比較的整っている。
- ・児童は、ICT機器の操作に対して、意欲的な姿勢である。

課題

- ・各教室に大型テレビがない。
- ・実物投影機の台数が足りない。
- ・授業でのICT機器活用に対する意識の差がある。
- ・児童の操作スキルに差があり、操作に時間を要する。

校内研修のアイディア

- ・職員会議や若プロなどを活用して、授業実践(うまくいったこと・うまくいかなかったこと)や「SKYMENUのアプリを紹介」して「活用できそうな場面」を話し合う時間を設定する。
- ・「まずは気軽にICT機器を使ってみよう」と呼びかけ、使用した場面を気軽に交流できるようにする。
- ・ICT機器を授業で活用した履歴を蓄積し、情報共有をしやすいとする。
- ・学期ごとにICTを活用した意見を出し合い共有化を図る。
- ・ICT年間計画と照らし合わせて、学期末や学年末にどのくらい達成できているか確認する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・ICT機器活用が得意な教員が解決するのではなく、職員室や校内で、気軽に教員同士で教え合い・学び合いができる。
- ・教員が、ICT機器活用履歴をもとに、気軽に授業でICT機器を活用できる。
- ・児童が、思考・表現ツールとしてICT機器を選択し、活用しようとする。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[全体研修1]ステージ1必須動画視聴会 [全体研修2]ステージ2必須動画視聴会	推進リーダー	
5月	[全体研修3]授業実践報告	推進リーダー	
6月	[全体研修4]授業実践報告	推進リーダー	
7月	[個人研修]ステージ3動画視聴と実践報告書作り [全体研修]学期末年間計画チェック	推進リーダー	
中間 目標	[児童] ・週に一度程度児童が機器に触れ、抵抗なく使えるようにする。 ・安全に使えることができるようになる。 [教員] ・週に一度程度授業で用い、抵抗なく使えるようにする。		
8月	[全体研修5]授業実践交流 [研修会]AIドリルの使い方や「SKY MENU」の使い方研修	推進リーダー	
9月	[全体研修6]学年会での授業実践報告	推進リーダー 各学年	
10月	[全体研修7]各部会での授業実践報告	推進リーダー 各部会	
11月	[全体研修8]若プロ(2学期のふりかえり・情報交換)	推進リーダー	
12月	[個人研修]ステージ3動画視聴と実践報告書作り [全体研修]学期末年間計画チェック	推進リーダー	
中間 目標	[児童] ・一日に一度以上児童が機器に触れ、抵抗なく使えるようにする。 [教員] ・一日に一度程度授業で用い、抵抗なく使えるようにする。 ・うまくいった実践とうまくいかなかった実践をまとめ、共有する。		
1月	[全体研修9]授業実践報告	推進リーダー	
2月	[個人研修]ステージ3動画視聴と実践報告書作り	推進リーダー	
3月	[全体研修10]授業実践報告(3学期のふりかえり・情報交換) [全体研修]学年末年間計画チェック	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松)立(犬丸小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(吉田 佐理)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<p>タブレットの活用を進めていくために、まずは教師が使い方に慣れるということを目指して取り組んできた。教師用のタブレットが行きわたったことにより、「どのくらいの頻度で教師が授業にタブレットを使うか」という質問でも「ほぼ毎日」と答えた人が100%となりおおむね達成できたと考える。</p> <p>また、研究部との連携によって、「授業の中でどうICTを活用していくか」ということを話し合う時間を確保できた。授業交流を行う中でも、ICTを使った授業を公開してもらい、児童がタブレットを使う新しい授業の形にチャレンジできた。</p>	<p>「児童がタブレットを使う授業の頻度はどのくらいか」という質問に対して、高学年では、毎日使っていると答えているが、低学年では週に1度程度という回答であった。高学年では、キーボード入力ができるようになるため、様々なアプリの活用が広がってきている。しかし、低学年を中心にどうやって使っていけばいいかわからないという声も聞かれる。低学年でどのように授業の中にICTを取り入れていくかが課題としてあげられる。また、ハード面の整備の不安から、児童の使用をためらうということも多く聞かれた。</p> <p>今後はICTのスキルを含め、学年による活用の差が出ないように系統的に指導する計画が必要である。</p>

校内研修のアイデア

- ①学校研究の「自分の考えをもち、主体的に学ぼうとする子の育成」と連動させて取り組む。
 - ・算数や国語の教科書をデジタル化し、提示資料の作成が短時間でできるようにする。デジタル化した資料の強みを生かして、「授業ユニバーサルデザイン」の視覚化を生かした授業作りに取り組む。
 - ・研究授業、模擬授業などで積極的に機器を利用し、ICT機器の活用による教育方法の改善・充実を図る。
- ②若プロ・研修全体会中にICT機器を使った研修を位置づけ、現在の研修時間の中で効果的・計画的に進めていく。
 - ・GIGA推進リーダーが指導者役として研修を行い、すぐに授業に使えるようなスキルや機能を紹介していく。
 - ・タブレットを活用した授業実践を交流し、ワークシートやデータを交流し、蓄積していく。学期に毎月紹介する場を設ける。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・すべての担任がタブレットを使用した教材提示等を用いて、効果的に授業をすすめることができる。
- ・全教員が、児童が個別学習においてインターネットやカメラ機能、文書作成ソフトなどを使えるように指導できる。
- ・全教員が、児童が学習の場面でICTを活用する機会を作っている。
- ・週1回、ICTタイムというタブレットの使い方を習得する時間をとり、全児童が学年に応じた使い方ができるようにする。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[全体研修] GIGA校内研修 [全体研修] 新しい授業づくり研修	推進L	第1回GIGA校内推進リーダー研修
5月	[全体研修] 模擬授業 [全体研修] 第1回算数研究授業	推進L 研究	第2回GIGA校内推進リーダー研修
6月	[全体研修] 模擬授業 [全体研修] 第2回算数研究授業	推進L 研究	
7月	[全体研修] 模擬授業 [全体研修] 第3回算数研究授業	推進L 研究	
中間 目標	<p>使える機能を探す 使える場面を探す</p> <p>【児童】毎週授業でタブレットを使用する カメラ、検索、文書作成、パワーポイント、ファイル共有</p> <p>【教師】毎日授業でタブレットを活用する</p>		
8月	[全体研修] 1学期の取組の振り返り・効果的なICT活用方法の交流 [全体研修] ICT実践事例紹介 2学期の方向性の確認	推進L 教務	平和集会
9月	[全体研修] 模擬授業 [全体研修] 第4回算数研究授業	推進L 研究	第3回GIGA校内推進リーダー研修
10月	[全体研修] 模擬授業 [全体研修] 第5回算数研究授業	推進L 研究	
11月	[全体研修] 模擬授業 [全体研修] 第6回算数研究授業 [全体研修] 小中連携合同研修会	推進L 研究	学校公開・ネットモラル授業
12月	[全体研修] ICT実践事例紹介	推進L	人権集会
中間 目標	<p>授業で児童が活用する</p> <p>【児童】アプリケーションを使って、自己表現する学習に取り組む。</p> <p>【教師】児童が1人1台タブレットを使用する授業を週2回以上取り組む。</p>		
1月	[全体研修] タブレット活用授業交流	推進L・研究	
2月	[個別研修] タブレット活用状況・実践アンケート	推進L	GIGA校内研修推進リーダー研修報告
3月	[全体研修] 来年度への方向性	推進L・教務	

授業で、どのようにICTを活用できるかを模擬授業で提案する。

[OJT]若手研や職員室での教材研究の際に活用事例を紹介し合ったり、困っていることを交流する。研究部と連携しながら研究全体会でも効果的なICTの活用方法を交流する。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(荒屋小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(横濱 正樹)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 定期的な研修を重ねることで、教員の個々のスキルが向上し、授業の中で端末を利用する機会が増えていった。 ICTならではの画面共有ができ、よい見本を瞬時にディスプレイに映し出すことができ、交流が深まった。 朝学習時、授業、家庭持ち帰り学習、オンライン学習を通して、児童自身の教科の学びが深まった。また、タイピングのスキルに関しても向上することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での効果的だった活用方法について学校全体で情報交換や共有をする時間がなかなか取れなかった。 家庭で実際にオンライン授業ができるのかの確認ができていない。 端末操作への慣れや学習の補充のために、休み時間に使用することを、ルールを決め条件付きで許可しているが、ルールを守らずに学習以外のことに使う児童が増えてきた。

校内研修のアイデア

- ICTに長けた教員が先行して活用し、実践を蓄積する。
- 授業を持つ教員は積極的に実践を行い、実践した内容を(うまくいなくても)ミニ研修会で伝える。
- 職員会議内で行うミニ研修会と独立して行う校内研修会を隔月で行う。
- 推進リーダーによるタブレットを活用した公開授業を行う。
- タブレットを使った授業のサポートができる仕組みを整える。(級外や教育センターのサポート要請)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 全児童が、学年にあったICTの活用目標を達成し、タブレットを活用しながら、授業のめあてを達成することができる。
- 全教員が、担当する学級もしくは教科で、「児童が一人一台タブレットを活用して学ぶ授業」を行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[赴任者研修]ステージ1 必須動画視聴研修会① [赴任者研修]ステージ2 必須動画視聴研修会② [赴任者研修]ステージ3 必須動画視聴研修会③	推進リーダー	
5月	[全体研修]ミニ研修会 昨年度SKYMENU Classを使った授業実践交流	推進リーダー	
6月	[公開授業]タブレット活用授業公開 研修会	推進リーダー 研究主任	
7月	[全体研修]校内研修会 1学期のSKYMENU Classを使った授業実践交流	推進リーダー サブリーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・80%の児童が、授業でタブレット端末を使うための基本的な技能を身に付けている。 ・すべての教員が、一人一台端末を利用した授業を1単元以上行う。 		
8月	[全体研修]校内研修会 2学期のSKYMENU Classを使った授業計画交流	推進リーダー	
9月	[全体研修]ミニ研修会 SKYMENU Classを使った授業実践交流	サブリーダー	
10月	[全体研修]校内研修会 Teamsの機能について	推進リーダー	
11月	[全体研修]Teamsを使ったオンライン学級活動体験	推進リーダー サブリーダー	
12月	[全体研修]校内研修会 2学期のSKYMENU Classを使った授業実践交流	サブリーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童が、授業でタブレット端末を使うための基本的な技能を身に付けている。 ・すべての教員が、一人一台端末を利用した授業を2単元以上行う。 		
1月	[全体研修]校内研修会 2学期のSKYMENU Classを使った授業計画交流	推進リーダー	
2月	[全体研修]今年度の振り返りと来年度に向けて	推進リーダー サブリーダー	
3月	[職員作業]新年度に向けて環境整備	推進リーダー サブリーダー 視聴覚担当	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市) 立 (第一小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(山田 純平)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・児童、教師ともにタブレット端末の操作技能が向上した
- ・資料の提示や動画の配信など、様々な機能を効果的に活用することで、学習内容の理解を深めることができた
- ・自習アプリを使った個別学習を活用することで、既習事項の定着を図ることができた
- ・オンライン授業を実施したことで、自宅にいる児童にも学びを保障することができた

課題

- ・GIGA校内研修推進リーダーと情報担当との役割分担が不明確であった
- ・タブレット端末の落下による破損が多く発生してしまった
- ・発達段階に応じた系統立てた指導をしていく必要がある
- ・日頃の実践に結びつく効果的な研修を進めていく
- ・持ち帰る際は、目的を明確にし、家庭との連携を進めていく

校内研修のアイデア

- ・GIGA校内研修推進リーダーと情報担当が核となり、推進チーム(GIGA校内研修推進リーダー・情報担当・各学年1名)を組織し、校内の研修を進めていく
- ・石川県教員総合研修センターのGIGA出前サポートを活用し、タブレット端末を活用した授業づくりについて理解を深め、授業でだれもが使えるようにする
- ・算数科の校内研究と連動し、研修を進めていく
→例えば、算数科の授業における活用事例について理解を深めたり、タブレット端末を活用した研究授業を行ったり、活用方法について共通理解を図り、他クラスでも実践したりしていくなど。
- ・タブレット端末を活用した授業アイデアを定期的に出し合い、いいアイデアを全校に広めていく
- ・GIGA校内研修リーダーや情報担当が他学年・他クラスの授業に入り、苦手意識をもっている教員のサポートをする

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【児童】
- ・1人1台端末を目的に応じて、自在に扱うことができる
 - ・1人1台端末を使うことのよさを理解し、進んで活用することができる
- 【教員】
- ・ICTを活用した授業を全員が行うことができる
 - 例えば、
 - 理科の観察・実験は、端末の映像で記録する
 - 社会科では資料を端末で提示する
 - 国語科では、自分の考えの根拠となった叙述を端末上で示す
 - ・教科の学習で各クラス1日に1~2回は、タブレット端末を活用した授業を行うことができる
 - ・授業で積極的に活用することももちろん、授業以外の時間、例えばスキルタイムなどでも、タブレット端末を活用したドリル学習を実施する(ペーパーとのバランスを考慮)
 - ・課題の配付・回収などもタブレット端末を用いて行うことができる
 - ・デジタル教材を教員間で共有したり、授業ではタブレット端末を使って児童に共有したりすることで、授業準備や授業中の負担を軽減することができる

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・GIGAスクール構想の実現に向けて【全員】 ・Qubena研修【対象者】 ・SKYMENU Class研修【対象者】	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
5月	・新たな授業づくり研修【対象者】 ・タブレット端末を活用した授業についての情報交流【推進チーム】	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
6月	・「1人1台端末を活用した体育科の授業づくり」【希望者】 講師:石川県教員総合研修センター指導主事 ・タブレット端末を活用した授業についての情報交流【推進チーム】	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
7月	・「1人1台端末を活用した音楽科の授業づくり」【希望者】 講師:石川県教員総合研修センター指導主事 ・1学期の取組の評価	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
中間目標	・GIGAスクール構想実現についての趣旨を理解し、全教員が同じ共通理解のもと、タブレット端末を活用した授業に取り組んでいる ・全教員が基礎的操作技能を習得し、授業で使えるようにする		
8月	・「1人1台端末を活用した算数科の授業づくり」【全員】 講師:石川県教員総合研修センター指導主事 ・「タブレット端末を活用した算数科の授業についての情報交流」	・GIGA校内研修推進リーダー	
9月	・「1人1台端末を活用した社会科の授業づくり」【希望者】 講師:石川県教員総合研修センター指導主事	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
10月	・「1人1台端末を活用した国語科の授業づくり」【希望者】 講師:石川県教員総合研修センター指導主事	・GIGA校内研修推進リーダー	
11月	・「タブレット端末を活用した算数科の研究授業と授業整理会」 ・タブレット端末を活用した授業についての情報交流【推進チーム】	・GIGA校内研修推進リーダー	小松市悉皆研究授業 笠井調査官招聘
12月	・タブレット端末を活用した授業についての情報交流【推進チーム】 ・2学期の取組の評価	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
中間目標	・教科の学習で各クラス1日に1~2回は、タブレット端末を活用した授業をしている ・授業以外の時間にも、タブレット端末を活用している ・デジタル教材を教員間で共有し、授業等で活用している		
1月	・タブレット端末を活用した授業についての情報交流【推進チーム】	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
2月	・タブレット端末を活用した授業についての情報交流【推進チーム】	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	
3月	・今年度の成果と課題【全員】 ・次年度の取組について【全員】	・GIGA校内研修推進リーダー ・GIGA推進チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松)立(苗代小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(山戸 駿)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

①昨年度1年間の実践により、在任教員はタブレットの基本的な活用方法を理解している。
②活用に意欲的な教員が多く、各々がどんどん活用している。また、共通実践に意欲的な職場である。

課題

①ネット回線が弱く、複数学級で一斉に使用すると回線トラブルが起こる可能性がきわめて高い。
②市外から異動してきた教員はSKY MENUの基本操作などが分かっていない。
③充電庫が教室からかなり離れており、日常的に活用するには抵抗感がある。
④ICT活用に意欲的な教員とそうでない教員に二分される。

校内研修のアイディア

- ①毎月の職員会議(もしくは職員終礼)にて10分程度の校内研修を行う
【1学期】GIGA校内研修推進リーダーが、基本的な端末の操作や効果的なICT活用実践事例について、校内教員に伝える
【2学期】GIGA校内研修推進リーダーが、校内教員の効果的なICT活用実践事例について取り上げ、校内教員に伝える
【3学期】校内教員が、効果的なICT活用実践事例について取り上げ、校内教員に伝える
- ②指導計画綴りに「2022Windowsタブレット活用プランIn苗代」を挟み込み、毎月達成度をチェックしてもらう
- ③年度内に作成した授業資料を「苗代教材データバンク(仮)」で共有する
- ④学校研究とICT活用を関連させ、授業実践を積み重ねる

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ①全教員が基本的なICT活用方法を理解・習得し、効果的な活用により子供の学びが深まるような授業をつくることができる。
- ②全児童が基本的なICT活用方法を理解・習得し、本気で課題解決にあたるためのツールとしてICTを活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	SKY MENUの基本知識 タブレットの初期指導 タイピングカの実態とサイトの紹介	推進リーダー	4/25第1回GIGA校内研修 推進リーダー研修 職員会議校内研修
5月	効果的なICT活用実践例①	推進リーダー	5/17第2回GIGA校内研修 推進リーダー研修 職員会議校内研修 校内研究授業
6月	効果的なICT活用実践例②	推進リーダー	職員会議校内研修 校内研究授業 6/23「歯と口の健康づくり推進事業」研究発表
7月	効果的なICT活用実践例③	推進リーダー	職員会議校内研修
中間 目標	【児童】 1年生:全員が問題なくログインできる 2年生:発表ノートの書き方を理解し、ノートにメモすることができる 3,4年生:発表ノートとカメラ機能を活用して資料を作ることができる 5,6年生:発表ノートを活用して資料を作成し、話し合いや発表会ができる	【教員】 ①基本的なICT活用方法を理解・習得することができる ②発表ノートの使用方法を理解し、よかった実践を共有し合うことができる	
8月	校内教員の効果的なICT活用実践事例集①	推進リーダー	職員会議校内研修 夏休み職員研修(GIGA出前サポート申込中)
9月	校内教員の効果的なICT活用実践事例集②	推進リーダー	9/13第3回GIGA校内研修 推進リーダー研修 職員会議校内研修 校内研究授業
10月	校内教員の効果的なICT活用実践事例集③	推進リーダー	職員会議校内研修 校内研究授業
11月	校内教員の効果的なICT活用実践事例集④	推進リーダー	職員会議校内研修 校内研究授業
12月	校内教員の効果的なICT活用実践事例集⑤	推進リーダー	職員会議校内研修 校内研究授業
中間 目標	【児童】 1,2年生:発表ノートとカメラ機能を活用して資料を作ることができる 3,4年生:発表ノートを活用して資料を作成し、話し合いや発表会ができる 5,6年生:発表方法や解決方法を自ら選択し、解決した課題についてまとめて発表することができる	【教員】 子供の学びが深まるようなICTの効果的な活用方法を探究することができる	
1月	校内教員による効果的なICT活用実践例①	推進リーダー +α	職員会議校内研修 研究全体会
2月	校内教員による効果的なICT活用実践例②	推進リーダー +α	職員会議校内研修
3月	校内教員による効果的なICT活用実践例③ 今年度のまとめと次年度に向けて	推進リーダー +α	職員会議校内研修

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(蓮代寺小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(吉村衛、佐田久瑠実、種谷寛太)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

校内研修等を行い「SKY MENU Clas」や「Qubena」の使い方を確認して、日々の授業実践を積み重ねることができた。個々の実践を記録に残し、職員室でのコミュニケーションを通して職員全体の技能も向上した。研究授業では、効果的な活用について協議し実践を重ね、講師を招聘しての研修会を行うことができた。公開授業での発信及び他校との交流を行うことができた。情報活用能力の育成のためのカリキュラムマネジメントについても行うことができた。

課題

タブレットの活用方法について、実践記録を残してだけでなく次年度に向けて情報共有の機会を定期的にもてるとよい。新学年に向けて児童がこれまで取り組んできたスキルの確認や異動してくる先生のスキルをそろえていけるように研修計画をたてていく。児童のタイピング技能を高めることができればよい。そのために自分の目標をもって取り組むことができるようにタイピング検定を設ける。

校内研修のアイデア

ICT実践記録をもとに情報活用能力育成のためのカリキュラムマネジメントをより一層推進していく。タブレット端末等ICT機器を活用し授業の交流週間を設定し、これまでの実践をもとに校内での交流を行う。また、他校との交流及び情報交換も実施する。モデル校の授業実践ビデオを視聴し、ICTの効果的な活用について校内研修を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

教師は授業のねらいを達成するために、効果的な活用ができているかをふり返ったり、本当にICTが必要だったのかを考えたりして授業改革に取り組んでいく。児童は教師から一方的に与えられるだけでなく、自分たちからもICTの積極的な活用方法を提案していく。また、タイピング技能を向上させ、自分の考えを入力して発信できるようにする。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGAスクールライブラリーを活用してのオンライン研修(各自)	推進リーダー	
5月	算数科を中心にタブレット端末等ICT機器を活用した授業づくり(各自)	推進リーダー	
6月	タブレット端末等ICT機器を活用し授業の交流週間 全体研究授業(算数科)	研究主任	要請訪問
7月	1学期のふりかえり・松東みどり学園との交流および情報交換	推進リーダー	
中間 目標	実践の交流を通してICTの効果的な活用を探る		
8月	小中合同研修会での提案 情報活用能力の育成に向けたカリキュラム作り	推進リーダー	
9月			
10月	先進校の視察 全体研究授業(算数科) タブレット端末等ICT機器を活用し授業の交流週間	推進リーダー 研究主任	計画訪問
11月	全体研究授業(算数科)・外部講師を招聘しての研修会 情報モラルについて実践	研究主任 保健主事	要請訪問 学校保健委員会
12月	先進校の視察 2学期のふりかえり・松東みどり学園との交流および情報交換	推進リーダー	
中間 目標	モデル校との交流や先進校の視察を通してICTの効果的な活用を探る		
1月	タブレット端末等ICT機器を活用し授業の交流週間	推進リーダー	
2月	令和4年度研究のまとめ(成果と課題) 令和5年度の方向性検討	推進リーダー	
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(向本折小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(本多 祐輔)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・昨年度より、全教員が授業でタブレットを使用した授業を実施している。
- ・タブレットをねらい達成のためのツールとして活用することに意欲的な教員が多い。
- ・子どもたちは、タブレットを使用する学習に興味関心が高く、意欲的に取り組んでいる。
- ・日常的にオンライン授業を実施しており、児童、教師共にオンライン授業の進め方がわかる。

課題

- ・教員一人一人の活用能力に個人差があり、一斉研修をする際の内容設定が難しい。
- ・個々の授業実践は十分に行われているが、共有がなかなかできないため、スキルアップにつながらない。

校内研修のアイデア

学校研究と関連付けて行う。

<学校研究と関連した本年度の重点目標>

- ・児童が主体的に考えを表現し、学び合う授業づくりに向けた、教師のICT活用能力の向上。

<重点目標にせまるために>

- ・授業で一人一台タブレットを活用しねらい達成のための有効活用を目指す。
- ・教科に限らず、総合的な学習の時間の学びの発信の場や委員会の発表等いろいろな場でタブレットを活用する。
- ・夏季休業中に研修会を設定し、授業等で使用したワークシートのデータ等を紹介し合う。
- ・オンデマンドの個人の研修の場の設定や外部講師を招聘し、資質向上を図る。
- ・ICTの活用に対して、一人につき一つの目標を設定する。
- ・職員会議の終わりに「ちょこっとGIGA」を設定し、実践共有の場とする。
- ・「お気軽GIGA」として、職員室内で随時情報交換やGIGA担当者による悩み相談を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

<児童>

◎学習の基盤となるスキルを身につけ、日常の文房具として使用できる。

*撮影・記録(低学年から)

*キーボード入力(ローマ字入力 中学年から)

*プレゼンテーション(高学年から)

*表・グラフの作成(高学年から)

*必要な情報の収集・選択

<教員>

・上記の指導ができる。

・全担任が、児童が毎日、学習や活動の場面でICTを活用する場を設定している。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	「新たな授業づくり研修」★ステージ1, 2 (随時)	対象教員	4/25(金)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修(教頭・本多) ※年間計画持参
5月	「新たな授業づくり研修」★ステージ3 (随時) 全体研修「R4 GIGA校内研修の進め方」 「お気軽GIGA」個別相談(随時)「ちょこっとGIGA①」実践共有(職員会議後)	対象教員 本多 本多、中田、塚崎	5/17(火)第2回GIGA校内研修推進リーダー研修(本多) ※年間計画持参
6月	「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA②」実践共有(職員会議後) 全体研修「情報モラルについて」	本多、中田、塚崎	新たな授業づくり研修報告締切(6/6までにアンケート回答)
7月	外部講師研修「国語科におけるSKYMENUの活用方法」 「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA③」実践共有(職員会議後)	本多、中田、塚崎	
中間目標	☆児童 (全児童)ログインまでを5分以内できるようにする。 (低学年)マーキングを使用し、カメラで撮影したものを解説できる。 (中学年)キーボード入力(ローマ字)で、Google検索ができるようになる。 (高学年)表計算(Excel)、文書(Word)プレゼン(PowerPoint)アプリを利用して、自分の意見を発表できるようにする。	☆教師 ・週に3回は端末を使用する。 ・Windows10、マイクロソフトofficeの基本的な操作を習得し、簡単なトラブルに対応できる。 ・TeamsやZoomの設定ができる。	
8月	若プロ①「児童の発達段階に応じたプログラミング教育」 「お気軽GIGA」個別相談(随時)「ちょこっとGIGA③」実践共有(職員会議後) 全体研修「1学期のICT活用状況振り返り・2学期への課題」	本多、中田、塚崎	
9月	「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA④」実践共有(職員会議後)	本多、塚崎	9/13(火)第3回GIGA校内研修推進リーダー研修(本多) ※発表資料持参
10月	「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA⑤」実践共有(職員会議後)	本多、塚崎	
11月	「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA⑥」実践共有(職員会議後)	本多、塚崎	
12月	「お気軽GIGA」個別相談(随時) 「ちょこっとGIGA⑦」実践共有(職員会議後) 全体研修「2学期のICT活用状況振り返り・3学期への課題」	本多、塚崎	
中間目標	☆児童 (全児童)ログインまでを3分以内できるようにする。 (低学年)撮影した画像にマーキングし、自分の考えを入れて紹介できる。 (中学年)検索したことを発表ノートにまとめ、発表できる。 (高学年)調べたことを表やグラフで整理し、プレゼンテーションを行うことができる。	☆教師 ・児童が発表した内容や、授業等で使用したワークシートを分類して共有フォルダに蓄積できる。 ・毎日何かの形で、端末を活用する。	
1月	「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA⑧」実践共有(職員会議後)	本多、塚崎	
2月	「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA⑨」実践共有(職員会議後)	本多、塚崎	2/24(金)GIGA研修校内研修推進リーダー研修実践報告締切
3月	全体研修「R3年度GIGA校内研修の振り返り、次年度への課題」 「お気軽GIGA」(随時) 「ちょこっとGIGA ファイナル」実践共有(職員会議後)	本多、塚崎	

2-23 GIGA校内研修計画

令和4年度 GIGA校内研修	
目標の達成に影響を与える現状	
+(強み)	-(弱み)
<ul style="list-style-type: none"> ・若手の教員が多く、柔軟に対応できることが期待できる。 ・ICTの有用性に対する理解が高く、共通実践に協力的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員がそろって研修する時間がとりにくい。 ・職員間・児童間の機器操作のスキルに差がある。 ・校務や教材研究に使用するネットワークと授業用タブレットのネットワークが別である。

校内研修のアイデア
<ul style="list-style-type: none"> ○研修会や学年部会等で、以下のことを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用事例を紹介する。 ・ICT活用に対する困り感を共有し、解決策を検討する。 ・話し合った結果から、他の職員も交えて行う研修(職員会・研究全体会后)の内容を検討する。 ○校内職員どうして授業公開をする機会に、ICTを活用した授業を公開する。 ○教員の希望に応じて、自由参加型の校内研修を積極的に行う。 ○研修担当からICT便りなどを発行し、定期的に配布する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」
<p>全ての児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作および情報モラルを身につけ、情報手段を適切に活用できるようにするために、以下に具体的な姿を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任・児童が学習や活動の場面でICTを活用する機会を継続的に作っている。 ・教員カメラ機能やファイル共有機能を利用し、発表ノートや画像を集約したり、全体に広げたりすることで対話的な学びを実現することができる。

年間研修計画			
月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	Qubena・SKYMENU研修[対象者] GIGAスクールライブラリ研修(ステージ1~2)[対象者]	清水	・第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	Teams活用[希望者] GIGAスクールライブラリ研修(ステージ3)[対象者] 校内授業公開weekでのICT公開授業	清水	
6月	Formsの活用研修[希望者] GIGAスクールライブラリ研修(ステージ2~3)[対象者]	清水	・学校評価
7月	1学期のふりかえり[全体] zoom活用研修[希望者]	清水	
中間 目標	【児童】 今江小学校ICT活用指導計画各学年の目標に準ずる。	【教員】 ・SKYMENU, Qubena, Teamsなどの基本的な操作がわかり、授業に取り入れている。	
8月	研修計画の見直しと2学期の計画[部会] GIGAスクールライブラリ研修(ステージ2~3)[対象者]	清水	
9月	Teams活用研修[希望者]	清水	・第2回GIGA校内研修推進リーダー研修 ・大運動会
10月	校内授業公開weekでのICT公開授業[全体]	清水	
11月	実践事例紹介①[全体]	清水	
12月	2学期のふりかえり[全体]	清水	
中間 目標	【児童】 今江小学校ICT活用指導計画各学年の目標に準ずる。	【教員】 ・授業においてICTを効果的に活用し、教員間で事例を共有している。	
1月	実践事例紹介②[全体]	清水	
2月	実践事例紹介③[全体]	清水	・6年生を送る会
3月	3学期のふりかえりと次年度の計画見直し[学年→全体]	清水	・GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告/ 新たな授業づくり研修受講状況報告

2-13-2 今江小ICT活用指導計画

【概要】情報教育目標(管理運営計画2-13)を達成するため、各学年における習得してほしい技能の基準を示すために作成した計画です。年間の指導の見通しを立てる上で参考にしてください。各種技能の指導時期についてはあくまで目安ですので、児童の実態や必要に応じて学年で調整してください。なお、身に付けてほしい技能の目安の策定にあたっては、【情報活用能力の体系表例(IE-Schoolにおける指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(文部科学省、令和元年)や各種教育関連発刊物、小松市ICT研究指定校のカリキュラム(運代寺小学校)、本校の実態等を参考に作成しました。指導計画を提出する際に、指導したスキルにマーカーをお願いします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	情報モラル
1年	・電子機器が非常に壊れやすいものであるという事を理解する。	・タブレットを正しく安全に運ぶことができる ・タブレットのパーツの名前がわかる(キーボード、タッチパッド)	・タブレットにログインできる(6年生と) ・タブレットの電源を入れたり、切ったりできる	・タブレットをタッチパッドで操作できる(ダブルクリック含む)		・タブレットで写真を撮ることができる ・SKYMENUで撮った画像を見ることができる ・タブレットでQRコードを読み取ることができる。	・SKYMENUの発表ノートに線を引ける。 ・SKYMENUの発表ノートで消しゴムや「元にもどす」、「やり直し」をすることができる。 ・SKYMENUの発表ノートにスタンプを打てる。 ・作成した発表ノートを提出することができる。	・SKYMENUの発表ノートに線を引ける。 ・SKYMENUの発表ノートで消しゴムや「元にもどす」、「やり直し」をすることができる。 ・Teamsで会議に参加することができる。	・SKYMENUで画面保存をすることができる。	・SKYMENUの発表ノートで開きたいノートをフォルダから選んで開くことができる。			・コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを理解している ・人の作った物を大切にすることや他者に伝えてはいけない情報(個人情報に関する事など)があることを理解している。 【国語:おにごっこ(引用の学習)】 ・情報や情報技術を適切に使おうとしている。
2年	・検索グループを選んで、授業に参加することができる。	・文字入力を「かな入力」に切り替えることができる。 ・発表ノートに画像を貼り付けることができる。	・発表ノートにひらがなで文字入力することができる。 ・発表ノートに手書きで文字入力することができる。	・発表ノートの文字入力での文字の位置、大きさ、色、背景色などを変更できる。		・SKYMENUで画像をトリミングすることができる。 ・教科書等のQRコードを読み取ることができる。	・資料置き場の素材を発表ノートに張り付けることができる。	・Formsを使った選択式のアンケートに回答できる。(学校評価等のタイピングで)	・SKYMENUポジション機能で自分の意見を表すことができる。	・インターネットにアクセスし、ヤフーキッズ等の検索エンジンサイトで語句を検索できる。 ・特定のページをインターネットブラウザでブックマークすることができる。	・検索エンジンで2語以上の言葉を検索する際に、間にスペースを入れて検索できる。		
3年	・毎朝、職員室から保管庫の鍵を借り、タブレットをいつも使える状態にしておくことができる。 ・毎日、帰りにタブレットを保管庫に戻すことができる。	・選指に気を付けてプレイグラムタイピングすることができる。	・ローマ字表を見ながら、五十音順に文字を打つことができる。			・SKYMENUの発表ノートのフォルダを、各教科ごとに分けて作成し、自分の作成したノートを適切なフォルダにしまうことができる。	・自分で撮影した園工の作品の画像を、発表ノートにはりつけ、感想や工夫したことなどを書くことで作品カードを作ることができる。	・自身の活動を動画ファイルにして提出することができる。(体育、器楽の演奏など)		・ローマ字表を見ずにローマ字で文字を入力することができる。(濁音・半濁音、小文字除く)	・ローマ字表を見ずにローマ字で文字を入力することができる。(濁音・半濁音、小文字含む)		・自分の情報や他人の情報の大切さを理解し、むやみに公開してはいけないことなどを理解したうえで、書籍やインターネットなどの情報源を利用している。 【国語:引用する時、総合:エコライフ大作戦】 ・生活の中で必要となる基本的な情報セキュリティを理解している。 ・情報の発信や情報やり取りする場合の責任やルール、マナーについて理解している。
4年	・Qubenaで特定の単元を選び、問題を解くことができる。 ・フォルダ表示から、目的のファイルを開くことができる。	・タッチパッドを2本指で操作することができる。(スクロール、バック拡大縮小、メニュー表示等)	・1つのテーマについてインターネットから情報を集め、かんたんにノートなどにメモすることができる。【総合:エコライフ大作戦】	・センターHPプログラミングの森で、適切なルートを設定することができる。【総合:プログラミング】		・MicrosoftのWordで文章を作成し、ファイルに名前を付けてデスクトップに保存することができる。 ・作成したWordファイルの名前を変更したり、特定のフォルダに保存することができる。	・文字やファイルのコピー、切り取り、貼り付け、移動をすることができる。・Wordを原稿用紙設定に変更できる。【総合:10年後のぼくわたし】	・Wordにおいて、文字の位置、大きさ、色、書体などを変更できる。		・文章の編集に使用する簡単なショートカットキーがわかる。(Ctrl&C,V等)	・SKYMENU「みんなの作品」を使って、友達の作品にコメントすることができる。【園工:鑑賞の活動】		・情報メディアの利用による健康への影響を踏まえ、行動しようとする。 ・情報通信ネットワークを協力して使おうとしている ・情報や情報技術を生活に活かそうとしている
5年		・発表ノート等の内容をSKYMENUの投影機能を用いて、クラス全体に伝えることができる。	・MicrosoftのPowerpointでスライドを作成し、ファイルに名前を付けて保存することができる。	・スライド等に画像を挿入することができる。 ・複数資料を見比べるために、画面を切り替えるショートカットキーAlt&Tabを使う。		・校内放送システムを活用して上級生と共にお知らせをすることができる。	・スライド等に表やグラフを挿入することができる。	・Scratchを活用して、意図通りに簡単なプログラミングができる。【算数】		・文章の編集に使用する簡単なショートカットキーがわかる。(Ctrl&X,Z,S等)	・3本指でタッチパッドを操作することができる。		・情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ尊重しようとしている。 ・通信ネットワーク上のルールやマナーコンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとしている。 ・生活の中で必要となる情報セキュリティについて踏まえ、行動しようとしている。
6年					・校内放送システムを活用して全校にお知らせをすることができる。【委員会】	・信頼できるWebページの具体例がわかる(各種公的機関HP、大企業HP等)	・Webページから引用する際に情報元のサイトを適切に表記できる。(作成者、サイト名、資料名、URL、最終閲覧日)	・Teams等の画面共有機能を使って発表等ができる。	・目的や対象に応じて、スライドの作り方を工夫することができる。(グラフ、イラスト、字の量等) 【国語:メディアと人間社会・大切な人と深くつながるために(資料:プログラミングで未来を創る)】	・Scratchを活用して、センサーなどの機械を簡単にプログラミングできる。【理科:発電と電気の利用】		・発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響を踏まえ、行動しようとしている。 ・情報メディアの利用による健康への影響を踏まえ、行動しようとしている。 ・情報通信ネットワークは共用のものであるという意識を持って行動しようとしている。 ・情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとしている。	

各学年のタイピング速度目標目安(文字数/1分間)

【情報モラルに関する指導の具体】指導に当たっては、以下のサイトもご活用ください。映像コンテンツへのリンクが張られたページにジャンプします。検索しても出てきません。(リンクの場所:指導者用タブレットでフォルダ表示→今江小学校→情報モラルリンク集・情報化社会の新たな問題を考えるための教材(児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引き)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416322.htm
・スマホリアルストーリー(NHK for School) https://www.nhk.or.jp/school/sougou/sumaho/
・@media(NHK for School) https://www.nhk.or.jp/school/sougou/atmedia/

【ICT活用実践リンク集】他校での実践などについて、スマートスクールネットやデスクネットの文書管理に掲載されていますので、校務用のNAS(disk1)内にサイトへのショートカットを作成しておきました。学年に応じて以下の場所からご活用ください。
(¥disk1¥2 R4年度¥2 教務部¥11-4 教育計画¥情報教育¥13ICT活用実践リンク集)

1年	2年	3年	4年	5年	6年
×	×	20字	50字	60字	60字~

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(串小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(木下雅史 林智一)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の要望を生かした研修を行うことができた。 ・若プロ担当と連携して研修を計画することができた。 ・センターの出前講座や市のサポートを活用できた。 ・学校研究と関連させ、タブレットを活用した研究授業を行うことができた。 ・GIGAだよりを定期的に発行し、他校の実践を共有することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの保管庫が教室と離れていて、文房具のように使うことができなかった。 ・教員の活用スキルの差が広がった。 ・タブレットを活用した方が効果的な場面、ワークシートの方が効果的な場面の使い分けが難しかった。 ・高学年はQubenaを活用できたが、低学年は持ち帰り課題を用意するのが大変だった。

校内研修のアイデア

- 【全体研修】
 - ・全体研究授業でタブレットを活用し、効果的な活用方法について話し合う。
 - ・GIGA出前サポートを活用する。
- 【個別研修】
 - ・ICT機器の操作や機能の紹介を行う。
 - ・学年研究授業でタブレットを活用し、効果的な活用方法について話し合う。
 - ・他校のオンライン発表会を視聴し、様々な活用方法を学ぶ。
 - ・教員の専門性を生かし、お互いに講師となって研修を企画する。
- 【その他】
 - ・困っていることや知りたいことを調査し、GIGAだよりを定期的に発行する。
 - ・タブレット活用する授業を相互参観する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 「全教員が、タブレットを活用し、語り合い学びの深まる授業をすることができる。」
- ・全教員が、共同編集機能を利用して短時間で効果的に協働学習を行うことができる。
 - ・全教員が、情報モラルの指導ができる。
 - ・全教員が、タイピングの指導ができる。
 - ・児童が、共同編集機能を利用して友だちと考えを伝え合うことができる。
 - ・児童が、タブレットを文房具のように使うことができる。
 - ・高学年児童が、委員会活動やクラブ活動でタブレットを活用することができる。
 - ・高学年児童が、検索機能で調べた情報やアンケート機能で集約したデータをまとめて発表することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	安全にタブレットを使うためのルールについて【全体】 ワイヤレスディスプレイアダプターの接続方法について【希望者】	木下	GIGA校内研修推進リーダー研修①
5月	「SKYMENU」「Qubena」使い方について【希望者】 GIGA研修の報告【全体】	木下	GIGA校内研修推進リーダー研修②
6月	ワイヤレスディスプレイアダプターの効果的な活用について【若プロ】	高村	
7月	1学期のふりかえり【学年】→GIGAだよりで共有	林	アンケート①【教員・児童】
中間目標	「授業での活用回数を増やす」 ・タブレットを複数の教科で活用する。 ・SKYMENUの複数の機能を活用する。		
8月	一人一台端末時代の総合的な学習の時間の授業づくり【全体】	GIGA出前サポート	
9月	GIGA研修の報告【全体】	木下	GIGA校内研修推進リーダー研修③
10月	投票機能を活用した道徳科の授業実践【若プロ】	木下	クラブ紹介
11月	タブレットを活用した外国語の授業づくり【若プロ】	西山	児童集会
12月	2学期のふりかえり【学年】→GIGAだよりで共有	林	アンケート②【教員・児童】
中間目標	「授業で効果的に活用する」 ・考えたくなる導入の工夫に活用する。 ・効果的な解決活動の工夫に活用する。 ・次時につなげる終末の工夫に活用する。		
1月	デジタル教科書の効果的な活用について【若プロ】	林	
2月	プログラミングを取り入れた理科の授業づくり【若プロ】	出口	児童集会
3月	一年間のふりかえりと次年度に向けて【全体】	林	アンケート③【教員】

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市) 立(日末小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(岡山 竜士)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<p>全ての学級で、一人一台端末を利用した授業を実践することができた。 また、目標に掲げた全ての児童が自分の端末を利用して、自分の考えや思いを表現することもできた。 当初予定していた、月一回程度の実践交流の場は設定できなかったが、学校研究の全体研後や職員会議後などの10～15分程度を利用して実践交流やPC操作が堪能な先生からの研修の場を設定することで、効率よく研修を行うことができた。</p>	<p>ノートと端末のすみ分け 本校では、階ごとにプリンターを購入し、端末で作成したものをプリントアウトしノートに貼る対応を取っていたが、引き続き何をノートに表現させ、何を端末で表現させるかは検討していく必要がある。</p>

校内研修のアイディア

月一回程度の実践交流の場を設定し、学校研究の全体研後や職員会議後などの10～15分程度を利用して実践交流やPC操作が堪能な先生からの研修の場を設定する。教職員の要望や課題に応じてテーマを設定し、実施する。

テーマ

- ・PC基本操作の指導方法
(キーボード操作、アプリ操作)
- ・タブレット上に表現する方法
(発表ノート、写真撮影、動画撮影)
- ・各教科での実践
- ・表現したものを共有する方法
(投影機能、プリント印刷、グループワーク)

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・自分の考えをタブレット上に表現できる。
- ・表現したものをもとに伝えることができる。
- ・友達が表現したもの・伝えたことをもとに、自分の考えと比べ、違いやよさを考えたり、新たな考えをうみ出したりと、伝えたことと新たなものを得ることができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	学年に応じたタブレット活用について	岡山	第1回GIGA校内研修推進リーダー研修
5月	GIGAタブレット実践交流会1(校内研修)	岡山	
6月	GIGAタブレット実践交流会2(校内研修)	岡山	
7月	GIGAタブレット実践交流会3(校内研修)	岡山	
中間目標	すべての児童が学年に応じたタブレットの基本操作を身に付ける。 すべての児童が、タブレット上で自分の考えを表現することができる。		
8月	GIGAタブレット実践交流会4(校内研修)	岡山	
9月	GIGAタブレット実践交流会5(校内研修)	岡山	
10月	GIGAタブレット実践交流会6(校内研修)	岡山	
11月	GIGAタブレット実践交流会7(校内研修)	岡山	
12月	GIGAタブレット実践交流会8(校内研修)	岡山	
中間目標	すべての児童が学年に応じたタブレットの基本操作を身に付ける。 すべての児童が、タブレットを活用しながら、自分の考えを伝えることができる。		
1月	GIGAタブレット実践交流会9(校内研修)	岡山	
2月	GIGAタブレット実践交流会10(校内研修)	岡山	
3月	GIGAタブレット実践の成果と課題協議(校内研修)	岡山	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- どの学年も進んで活用しようとしていた。
- 様々な教科で取り組んでいた。
- タイピング月間でスキルの向上が行われた。
- 異学年交流で活用、教え合いができた。
- アンケート機能の活用で、児童も保護者も意識できた。

課題

- 授業内の効果的な活用には至っていない。
- 実践カードは記入しているが、共有がすくないため、改善や検討ができていない。
- ICT支援員が常駐していないため、情報担当が担う負担が大きい

校内研修のアイデア

- 実践記録のデータベース化（月末の終礼後に各学年で入力）
- 具体的な取り組み内容の共有（タイピング月間を行う（さわやかタイム5月9月1月））
- 学校研究との連携（授業デザイン部における研修・取り組み）
- 職員便りによる発信（・異学年交流による教え合い、活用や委員会活動での活用（動画・プレゼン・アンケート）について共有）

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 低学年：タブレットを活用して、自分の考えや思いを表現することができる。（写真撮影 発表ノートが使える）
- 中学年：情報や考えを整理し、発信することができる。（キーボード入力、考える技法を用いる）
- 高学年：複数の情報を整理分析し、まとめ発信することができる。（プレゼン機能の活用、グラフの活用、アンケート機能の活用）
- タブレットを活用し、各教科の見方考え方を働かせることができる。

月	研修テーマ【研修形態】	担当	関連する行事等
4月	SKYMENU研修会【異動者】 キュビナ(AIドリル)研修会【異動者】 カリキュラムデザインの作成【全体会】	小松市 小松市 研究主任	
5月	視聴覚教育会【担当者研修】 タブレットの活用について【全体研修】 実践記録【学年会】	小松市 推進リーダー 各学年	
6月	ミニ研修(NHKfroSchool)【自由参加】 実践記録【学年会】	推進リーダー 各学年	タブレット教え合い(1年6年) 個人懇談
7月	ミニ研修(Fromsの活用法)【自由参加】 実践記録【学年会】	推進リーダー 各学年	授業参観
中間 目標	低学年：自分でログインをすることができ、自分の発表したいものを写真撮影することができる。 中学年：情報検索ができ、キーボード入力ができる。 高学年：調べた複数の情報を思考ツール等を使って整理分析することができる。 教職員：教科のねらいにあった活用法を考え実践する。		
8月	カリキュラムデザインの見直し【全体会】 交流会【情報担当部会・デザイン部】	研究主任 推進リーダー	
9月	タイピング月間について【全体会】 実践記録【各学年】	デザイン部 各学年	第2回GIGA校内研修推進 リーダー研修
10月	ミニ研修(動画編集)【自由参加】 実践記録【各学年】	推進リーダー 各学年	児童発表会(3年)
11月	計画訪問【全体会】 実践記録【各学年】	研究主任	授業参観
12月	実践記録・成果と課題【各学年】 交流会【情報担当部会・授業デザイン部】	各学年 推進リーダー	仲よし集会
中間 目標	低学年：自分の思いを発表ノートで表現することができる。 中学年：調べてきた情報を発表ノート等を使ってまとめることができる。 高学年：集めた情報を分析し、発表ノートやプレゼンテーションでまとめることができる。 教職員：教科のねらいにあった活用法を実践し、改善点をかんげることができる。		
1月	タイピング月間について【全体会】 実践記録【各学年】	デザイン部 各学年	
2月	実践記録【各学年】 研究のまとめ【授業デザイン部】	各学年 推進リーダー	ふつの日
3月	研究全体会【全体会】	研究主任	6年生送る会

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・すべての教員がGIGAタブレットを用いて、タブレットの可視化機能、共有化機能を使い、様々な機能に慣れ親しむことができた。
 ・必要感のある活用を目指して、全教員が授業内での活用の方法やタイミングなどを意識して授業研究、タブレット研究を行うことができた。

課題

・教員間でのGIGAタブレットに関する情報交換が日常的に行えていない。
 ・児童のGIGAタブレットを活用する力の育成や児童主体での活用が比較的進んでいない。
 ・Qubenaやミライシードなど、学習用ソフトなどを効果的に活用することができていない。
 ・これまで以上に「効果的な活用」という視点を持って授業に臨む必要がある。

校内研修のアイデア

- ・学校研究と連動させて取り組む。
- ・各学年で使用した効果的なデータやソフトなどを共有フォルダに蓄積し、研修等で紹介するなどして、いつでも活用することができるようにする。
- ・Qubenaや電子新聞週間などを朝学習の時間に設定し、児童主体でGIGAタブレットを活用させ、児童の基本的な活用能力を養う。
- ・研究授業や普段の活動では、必要に応じてGIGAタブレットを使い、「効果的な活用方法だったか」という視点のもと、授業研究や整理会を行っていく。
- ・「効果的な活用方法」という視点のもと、毎週定期的に研修会を開き、各々の実践報告や授業相談を行い、自身の授業に還元していく。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・すべての児童・教員が基本的な操作方法を昨年度以上に身につけ、文房具と同じような感覚でタブレットを操作し、主体的に活用することができる。
- ・全教員が、ファイルの共有化機能や研修会を効果的に利用し、情報の交換や共有化などを通して、必要に応じて他クラスの実践やデータを活用することができる。
- ・GIGAタブレットの「効果的な活用」を必ず意識して、日頃の活動や授業に臨んでいる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	学校研究・関連する行事等
4月	年間研修計画についての説明会【全体】 動画視聴による研修【個人】	推進リーダー	研究計画 報告の取組の確認 提案授業
5月	タブレット上での学習データの共有方法研修【全体】 朝学習の時間帯における、GIGAタブレット活用方法研修【全体】 [端末操作]個別相談会【個人】	推進リーダー	家庭学習パワーアップ 自学紹介・ノート展示① 6年生によるモデル授業
6月	効果的な学びに関する実践報告会【低中高】 [端末操作]個別相談会【個人】	低中高主担当者	家庭学習パワーアップ 自学紹介・ノート展示② 研究授業 年
7月	学期末GIGAタブレット振り返りアンケート	推進リーダー	研究授業 年 学校評価アンケート
中間 目標	①教員間の情報交換や児童主体の活用(Qubena・タイピング等)を取り入れて、自身の授業に生かすことができる。 ②効果的なハイブリッド型授業を意識して、GIGAタブレットを活用しようとする。		
8月	アンケートをもとに2学期の方向性に関する研修【全体】 動画視聴による研修【個人】	推進リーダー	低学年部会 高学年部会
9月	[端末操作]個別相談会【個人】	推進リーダー	研究授業 年
10月	効果的な学びに関する実践報告会【低中高】	低中高主担当者	家庭学習パワーアップ 自学紹介・ノート展示③ 計画訪問【10月27日】 研究授業 2年
11月	[端末操作]個別相談会【個人】	推進リーダー	家庭学習パワーアップ 自学紹介・ノート展示④ 研究授業 年
12月	効果的な学びに関する実践報告会【低中高】	低中高主担当者	研究授業 年 学校評価アンケート
中間 目標	・教員間の情報交換等を通して、効果的なハイブリッド型授業を全教員が意識して取り組むことができる。		
1月	アンケートをもとに3学期の方向性に関する研修【全体】	推進リーダー	研究のまとめと検証 (成果と課題) 今年度の反省
2月	効果的な学びに関する実践報告会【低中高】	低中高主担当者	家庭学習パワーアップ 自学紹介・ノート展示⑤ 学校評価アンケート
3月	学年末GIGAタブレット振り返りアンケート	推進リーダー	来年度の方向性の確認

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

小松市立木場小学校

GIGA校内研修推進リーダー(山崎 幸代 篠岡 武迪)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- 週に一度GIGAタイムを設定し、全児童がキーボードにふれる機会をつくったことで児童のスキルが向上した。
- 毎月、短時間の研修を通じて、細かく情報共有ができた。
- 体験型の研修を多くしたこと、授業にすぐに生かすことができた。
- 実践記録を残すことで、他の教師の実践を知り、各々の実践に生かされた。

課題

- 研修の時間が足りなかったため、時間が確保できる長期休業中に、まとまった研修も計画する。
- 休み時間の使用についてのルールがあるとよい。
- パソコン用語が難しく、教師、児童共に共通理解しにくい。掲示物などを作る。
- Teamsは、必要感があまりないため、使い方を忘れる場合がある。研修を含め、計画的に実施するとよい。

校内研修のアイデア

- GIGAスクール研修推進リーダーによる実践例の紹介
- GIGAスクール研修推進リーダーによる授業公開
- 実践記録の交流
- 授業交流週間の意見交換会
- 「Teams」や「SKY MENU CLASS」の機能の紹介と体験研修
- 情報モラル教育についての研修

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

○子どもが学習場面でICT端末を活用できるか考え、活用できるようにする。

(具体例)

- まとめるために「PowerPoint」を使った方がみんなに発表するときに良いと思います。
- 自分たちの発表を確認するために動画を撮りたいです。 など

○情報を集め、その中から必要な情報を取捨選択できるようにする。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	今年度のGIGA校内研修計画の共通理解(職員)	山崎・篠岡	4/25 リーダー研修(第1日) 方向性の確認
5月	GIGAスクール研修推進リーダーによる実践例の紹介	山崎・篠岡	5/17 リーダー研修(第2日) 情報モラル教育
6月	GIGAスクール研修推進リーダーによる授業公開 情報モラル教育について①【全体研修】 授業交流週間	篠岡・山崎	
7月	実践記録の交流【全体研修】	山崎・篠岡	
中間 目標	【教師】日常的にICT端末を活用できる。 【児童】ほかの文房具と同じ感覚で、抵抗なくICT端末を使用できる。		
8月	「Teams」や「SKY MENU CLASS」の機能の紹介と体験研修 情報モラル教育についての研修・前期の取組報告会【全体研修】	山崎・篠岡	
9月	ICT端末を活用した授業についての教材研究【各自】	山崎	9/13 リーダー研修(第3日) 前期取組報告、後期の方向性
10月	授業交流週間	篠岡・山崎	
11月	授業交流週間の意見交換会【全体研修】	篠岡	
12月	ICT端末を活用した授業についての教材研究【各自】	山崎	
中間 目標	【教師】ICT端末を使い協働学習をさせることができる。 【児童】ICT端末を使いたいという声をあげることができる。		
1月	ICT端末を活用した授業についての教材研究【各自】	山崎	
2月	授業交流週間 実践記録の交流【全体研修】	篠岡・山崎	
3月	今年度のふり振り返りと来年度に向けて	山崎・篠岡	

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット活用をしていくための環境整備が実施でき、児童にも教師にも使い方が定着した。活用場面も増えた。 ・まずは教師が積極的にタブレットを活用して授業を計画することができた。 ・教材研究や持ち帰り学習に向けて、各学年で効果的なものを検討し合う機会も多くなり、実践を重ねることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催のスカイメニュー研修のみの実施になってしまった。 ・校内研修が決まった曜日等に設定できず、情報交換・共有が思うようにいかなかった。 ・まだまだ使うことが目的になっている。 ・各学年に応じたスキルの到達目標が見えにくい。

校内研修のアイデア

- ・毎月の職員会議後や研究全体会后、昨年度の実践記録をもとに、タブレット活用のイメージと現状(上手くいったこと・いかなかったこと)などを共有する機会を意図的にもつ。
- ・また、他校の実践も動画等で視聴したりする
- ・若プロとの連携し、GIGA活用講座を年3回開く。
- ・全校集会でのお知らせや児童集会など、発表ノート等を活用する。活用モデルを全児童、教員に広める。
- ・市指定の研修後、その研修を生かすため、どの教科のどの場面で使えそうかをイメージしたり、学年間で情報共有をおこなったりし、授業推進を進める。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 1人1台端末を活用して教科の学びを深めることができる。
- 【児童】
- ・3年生以上がキーボードのローマ字入力ができるようになる。
 - ・カメラ機能、検索サイトの利用、文章作成ソフトの活用、プレゼンテーションソフトの活用ができるようになる。
- 【教師】
- ・全教員が、カメラ機能や発表ノート、投影機能を利用し、意見を集約したり、全体に広げたりすることで、対話的な学びを支援することができる。
 - ・各教科において、昨年度の実践記録をもとに効果的に1人1台端末を活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]		関連する行事等
	全体研修(若プロ)	推進チーム	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール化のための環境設定について(共有) ・昨年度までの実践の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画作成、提案 ・昨年度の実践を各学年に紹介 	4/25(月)GIGA校内研修推進リーダー研修(第1日)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 ・研究全体会后ミニ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童集会での各委員会発表準備(発表ノート) ・全校集会にてタブレットの使い方のルール確認(情報モラルも絡めて実施) 	5/12(木)前期任命式・児童集会 5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修(第2日)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 ・研究全体会后ミニ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りアンケート作成、方法説明 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りアンケート集計 ・実践例集約 	
中間目標 「教科で活かす」		【児童】 ・昨年よりタイピングが上達する。(3年生以上) ・「カメラ」「発表ノート」「シンプルプレゼン」「検索サイト利用」「投票」「文書作成」低学年は1つ以上、中学年は2つ以上、高学年は3つ以上のアプリケーションを扱った経験がある。	【教師】 ・昨年度の実践例をもとに、いずれかの教科で1つ以上の単元でタブレット端末を活用できる。
8月	(若プロ)GIGA活用講座① ・GIGA研修会(GIGAサポート訪問活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・実践例整理 ・年間計画の見直し、改善、提案 	9/13(火)GIGA校内研修推進リーダー研修(第3日)
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 ・研究全体会后ミニ研修 		
10月	(若プロ)GIGA活用講座② ・職員会議後ミニ研修		
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 ・研究全体会后ミニ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童集会での各委員会発表準備(発表ノート) ・ふり返りアンケート作成 	11/10(木)後期任命式・児童集会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りアンケート集計 ・実践例集約 	
中間目標 「教科で活かす」		【児童】 ・1学期よりタイピングが上達する。(2年生以上) ・「カメラ」「発表ノート」「シンプルプレゼン」「検索サイト利用」「投票」「文書作成」低学年は2つ以上、中学年は3つ以上、高学年は4つ以上のアプリケーションを扱った経験がある。	【教師】 ・昨年度の実践例をもとに、いずれかの教科で2つ以上の単元でタブレット端末を活用できる。
1月	(若プロ)GIGA活用講座③ ・職員会議後ミニ研修	<ul style="list-style-type: none"> ・実践例整理 ・年間計画の見直し、改善、提案 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議後ミニ研修 ・研究全体会后ミニ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践報告作成 ・ふり返りアンケート作成 	2/24(金)GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りアンケート集計 ・実践例集約とまとめ 	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(月津小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(木下 綾子)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 児童はタブレット端末を使うことに慣れることができた。 児童がFormsを使えるようになり、教師もその結果の確認方法が分かるようになったので、アンケート集計がかなり楽になった。 職員会議後にOJTを組み込んだことで、定期的に研修を行うことができるようになった。 ミニ部会で実践交流してきたことで、教員同士、タブレット端末の活用方法について分からないことがあった時に気軽に聞きあえるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業で使える便利な機能・使い方など、具体例をもっとたくさん共有できればさらに使用頻度は増えた。 授業で使用途中、困った瞬間に対応できる人がいない。 保管庫から運搬するカートで運搬したり、タブレットケースをつけたりしたが、破損や故障が出てしまったため、使い方の指導をさらに徹底する必要がある。

校内研修のアイデア

- ①全体研修**
 - GIGAスクール推進委員が「こんなときに」「こんな操作をすると」有効だという技を紹介する。
 - 研修を受ける教員が児童用タブレットを使ってやってみて、「これならできそう」と感じられるようにする。
- ②少人数で行う研修**
 - 研究のミニ部会(低・中・高)において、タブレット端末を活用した実践の中で「使って良かった」と思えた実践を交流する。
- ③個人で行う研修**
 - スマートスクールネットで動画を視聴し、推進校の実践を学ぶ。
 - 状況に応じて、GIGA推進リーダーがサポートに入る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 低学年…補助がなくてもタブレット端末の起動やログインができる。
カメラ機能やノート機能のうち、簡単な操作をすることができる。
- 中学年…ローマ字入力に慣れ、発表ノート等で文書を作成することができる。
SKYMENU Classの主要ツールを使えるようにする。
- 高学年…ローマ字入力で、インターネットを活用した調べ学習ができる。
プレゼンテーションソフトを活用して、グラフ等の入った発表資料を作成し、発表することができる。
学びを深めるような場面での活用ができる(意見の交換・話し合いの場面での資料の提示)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> タブレットの使い方(SKY MENU等) 動画視聴 	GIGA推進リーダー及び情報担当全職員	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 実践交流 校内研修「情報モラルについて」 	各部長 高学年担任 情報担当	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 提案授業での実践 	各部長 全職員	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 実践交流 学期末の反省、2学期に向けての情報交換 	中学年担任 全職員	
中間目標	低学年…ログインが、補助なしでできる 中学年…ローマ字に慣れ、ローマ字入力ができる 高学年…インターネットで使った調べ学習を行うことができる。プレゼンテーションでまとめることができる。		
8月	<ul style="list-style-type: none"> ICTインストラクターを招聘しての研修 1学期の取り組み内容のまとめ・伝達 動画視聴 	GIGA推進リーダー 全職員	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 実践交流 研究授業での実践 	各部長 低学年 全職員	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ICTインストラクターを招聘しての研修 研究授業、交流授業での実践 	GIGA推進リーダー 全職員	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 実践交流 研究授業、交流授業での実践 	各部長 高学年担任 全職員	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 学期末の反省、3学期に向けての情報交換 	各部長 全職員	
中間目標	低学年…カメラ機能を使って、写真や動画を撮ることができる。 中学年…ローマ字入力で、発表ノート等で文章を作成することができる。 高学年…タブレットを活用し、発表場面で資料を提示しながらの発表ができる。		
1月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 実践交流 公開授業での実践 	各部長 中学年 全職員	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ミニ部会での情報交換(取り組み状況の確認) 実践交流 	各部長 低学年担任	
3月	<ul style="list-style-type: none"> 学期末の反省 年度末の進級作業 	GIGA推進リーダー及び情報担当	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(那谷小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(安井 和輔)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

- ・タブレット保管のルールを変更するなど児童が使いやすい環境を作っていくことで、児童にとっても身近に使えるものとなっていった。
- ・学年に応じた実践紹介や使用方法を紹介することで無理なく実践を行うことができた。
- ・キーボードなど遊び感覚で取り組めるタイピング練習を行うことで児童が進んで、隙間時間や休み時間も使うようになった。
- ・中学年以上はワードやパワーポイントといったツールを活用した成果物制作に取り組み、その都度使い方や、情報モラルについて学ぶことができた。

課題

- ・教師が写真などを大型モニターに映し出すなどの利用は日常的に行うようになってきたが、通信によるトラブルや起動するまでに少しはあるが時間がかかることから、児童がタブレットを活用して授業を進めるという場面は多いとは言えない。その活用方法が本当に児童にとって有効な手立てなのかという面で疑問が残る。児童にとってタブレットをどんなときにどんな使い方をすることが有効なのか授業実践を重ね見極めていきたい。

校内研修のアイデア

- ・授業でのICT活用場面について職員の意見交換を活発化する。
- ・短い時間で担当を決め実践紹介を行うなど、負担なく職員全体でできる研修の機会を設ける。(研修担当:島屋)
- ・課外ののびるタイム(ロング・ショート)やクラブに、児童へのICTスキルアップの機会を位置づけ、系統的な指導体制づくりを計画する。(安井・木村)
- ・校内研究とGIGA研修をタイアップして行う。(道場・安井)
- ・動画の視聴を進める。
- ・プログラミング学習外部講師招聘

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

那谷小学校目標「未来の創り手となる子の育成」

(全)・学びに必要なツールとして、ICT機器を利用している。

・ICTを使う良さが分かり、利用している。

(低)練習機能などを用い、個別に学びを進めることができる。写真撮影や記録などの初歩のICT利用に慣れている。情報を扱う態度の初歩を身に付けている。

(中)ローマ字での入力への抵抗感がなく、情報の収集や、発表ノート等を使い、簡単にまとめることができる。

(高)情報の発信や意見の交流、学びの記録や学びの活用の道具として、一人1台タブレットを活用している。ICTの活用についてのメリットやデメリットについて、理解しながら使用に留意することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	進級設定 デジタル教科書導入作業[校内] SKYMENU講習[市外異動者ZOOM 市研修] タブレット活用のルール等確認[校内]	木村 安井	学級開き・授業開き
5月	授業実践の交流(高学年) GIGA研修動画の視聴	安井	クラブ活動 1年生を迎える会
6月	授業実践の交流(なた) ICTを活用した提案授業	木村 安井	研究授業
7月	授業実践の交流(全校)	安井	
中間 目標	全児童、全職員による最終目標の理解。 ICT環境整備と体制づくり。 児童が学年に応じたICT活用を体験している。		
8月	GIGA研修動画の視聴	道場	
9月	授業実践の交流(中学年)	道場	
10月	授業実践の交流(低学年) プログラミング学習(4~6年)	武部 教頭	クラブ活動 運動会
11月	授業実践の交流(低学年) プログラミング学習(4~6年)	嘉宮 教頭	持久走大会 クラブ活動
12月	授業実践の交流(全校)	安井	
中間 目標	効果的な実践の共有。ICTを授業改善に生かした授業スタイル。 個別最適化された学習スタイルの導入(Qubena等) 学年に応じたICT活用の技術を身に付けている。		
1月	授業実践の交流(級外)	教頭	
2月	授業実践の交流(高学年)	安井	6年生を送る会
3月	授業実践の交流(全校)	安井	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(国府小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(嵐 宣昭)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> GIGAタブレット端末の環境整備等を協力的に行うチーム体制があり、活用実践を蓄積することができた。 実践事例交流会や実践報告会を行い、教員一人ひとりの活用実践を学年や部会、校内全体に広げることができた。 児童も教員も、GIGAタブレット端末の操作に慣れていったことで、授業における活用場面が広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務の中で、研修参加者の活用実践につながるような、短時間で効果的に行われる研修内容の計画が求められる。 GIGAタブレット端末を様々な場面で活用し、その上で効果のある活用場面を探る必要がある。 児童のキーボード入力等のスキルアップを図る取組を計画的に進めていく。

校内研修のアイデア

- 全ての教員が、年間を通して活用実践を蓄積する。
- 研修形態を工夫して、ICT活用のアイデアを出し合って共有できるようにする。
- 教員一人ひとりの活用実践を校内全体に広げるため、成果や課題を発表し合う実践事例交流会・報告会を行う。
- 研修参加者のニーズやレベルに焦点化した研修内容にするため、少人数のグループ・部会研修を行い、短時間で効果的な内容にする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 学校教育目標「『自分から動き出しともに伸びる子』の育成」を目指すため、
- 授業者は、個別学習、対話的な学習でのICT活用の意図を明確にして、授業をデザインすることができるようになる。
 - 児童は、ICTを活用することで、自分の学び方を選び、学びを活かしたり還元したりすることができるようになる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[個人研修]ステージ1・2必須動画視聴(対象者) [グループ研修]SKY MENU Class研修(授業支援ソフト機能紹介) [グループ研修]Qubena研修(学習コンテンツ説明及び体験)	推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー	4/25(月)GIGA校内研修推進リーダー研修(第1日)ライブ配信※年間計画持参
5月	[全体研修]年間研修計画・目標説明会 [個人研修]ステージ3動画視聴(対象者)	推進リーダー 推進リーダー	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修(第2日)※年間計画持参
6月	[全体研修]情報モラル研修会 [グループ研修]SKY MENU Class研修(基本編) [個人研修]授業公開	推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー	6/6(月)新たな授業づくり研修アンケート回答締切(対象者)
7月	[部会研修]実践事例交流会	推進リーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 授業者は、個別学習、対話的な学習でのICT活用の意図を明確にした授業を、週に1回以上行っている。 児童は、ICTを活用することで、自分の学び方を選び、学びを活かそうとしている。 		
8月	[全体研修]実践報告会(部会より各1名)	推進リーダー	
9月	[全体研修]ステージ3動画視聴	サブリーダー	9月 GIGA校内研修推進リーダー研修(第3日)※発表資料持参
10月			
11月	[個人研修]授業公開	サブリーダー	
12月	[グループ研修]実践事例交流会	サブリーダー	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> 授業者は、個別学習、対話的な学習でのICT活用の意図を明確にした授業を、週に2回以上行っている。 児童は、ICTを活用することで、自分の学び方を選び、学びを活かしたり還元したりしようとしている。 		
1月	[全体研修]実践報告会(グループより各1名)	推進リーダー	
2月	[全体研修]1年間の振り返りと来年度に向けて	推進リーダー	2/24(金)GIGA校内研修実践報告締切
3月			

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(中海小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(田上 千尋)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・タイピングについて共有したことで、児童のタイピングスキルが全体的に向上した。 ・スムーズに活用するための環境を整えることができた。 ・実践交流を通して、いろいろな機能や活用の仕方、活用場面がわかった。 ・研究授業とGIGAを関連させて効果的な活用について全職員で考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践交流の頻度が少なかったため、同じ人が同じような使い方になってしまっていた。 ・メディアリテラシーの指導の研修会がなかった。

校内研修のアイデア

- ・職員会議のあとにミニ研修会を開き、毎月簡単な実践交流をする。
- ・他校の研究発表会参加等で得た事例から学ぶ。
- ・研究授業の授業検討と並行して、効果的なタブレット活用方法を考える。
- ・低学年、中学年、高学年でそれぞれどの単元でどの機能が使えるかなど、具体的な授業実践方法を考える時間を設定する。
- ・若プロを活用して、ICTが堪能な教員から、ICTを活用した授業実践を教えてもらったり、実際に演習したりする。
- ・GIGAスクールライブラリ内の動画を観る。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【児童】**
- ・低学年 端末の基本的な操作に慣れ、授業で使うことができる。
 - ・中学年 ローマ字入力に慣れることができる。SKYMENUを活用し、意見を共有し深めることができる。
 - ・高学年 素早くローマ字入力をするすることができる。SKYMENUを活用し、意見を共有し深めることができる。Word,PowerPointを使って文書やプレゼンテーションを作成することができる。
- 【教師】**
- ・児童が学習や活動の場面でICTを活用する機会を全教員が作っている。
 - ・全教員が、カメラ機能やファイル共有機能を利用し、意見を集約したり、全体に広げたりすることで対話的な学びを支援することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	「年間計画作成」[推進チーム] 「使い方のルール・メディアリテラシー確認」[ミニ研修:全体]	推進チーム	4/25(月)GIGA校内研修推進リーダー研修 第一日目 ※年間計画必要
5月	「基本操作確認」[ミニ研修:全体]	推進チーム	5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修 第二日目
6月	「実践交流」[ミニ研修:全体]	推進チーム	
7月	「実践交流」[ミニ研修:全体]	推進チーム	
中間目標	【教員】 全教員が基本的な操作に慣れ、授業にICTを取り入れている。	【児童】 学校が示す学年に応じたタイピング技能を身に付けている。	
8月	「1学期の振り返り・2学期の取組確認」[全体] 「年間計画の改善、提案」[推進チーム]	推進チーム	
9月	「効果的な活用方法のための教材研究」[全体]	推進チーム	9/13(火)GIGA校内研修推進リーダー研修 第三日目
10月	「実践交流」[ミニ研修:全体]	推進チーム	
11月	「実践交流」[ミニ研修:全体]	推進チーム	
12月	「2学期の振り返り・3学期の取組確認」[全体] 「年間計画の改善、提案」[推進チーム]	推進チーム	
中間目標	【教員】 目的に合わせたICTの効果的な使い方ができる。	【児童】 学年に応じた技能やツールを使って成果物を作成し、共有して深めることができる。	
1月	「動画を活用した研修」[全体]	推進チーム	
2月	「実践交流」[ミニ研修:全体]	推進チーム	
3月	「1年間の振り返り」[ミニ研修:全体] 「1年間の振り返り・来年度の取組確認」[推進チーム]	推進チーム	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(松東みどり)学園

GIGA校内研修推進リーダー(藤江 冬威)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・校内でも校外でも実践交流を行うことで、主にSKYMENUについての機能を様々知ることができ、授業で実践する先生方が多かった。
 ・ICTの活用は本校の研究テーマでもあるため、全教員がICTを活用した研究授業を行うことができ、ICTの有効的な活用の仕方について具体的な場面で考えることができた。
 ・授業を担当する教員に効果的な活用方法について紙に書いてもらうことで、定期的に実践を紹介することができた。

課題

・紙による交流だけでは、イメージがわかりづらいものがあった。様々な実践の中からいくつかをピックアップし、職員会議後などの短時間に実際に端末を使って実践を紹介する機会を設けると良かった。次年度は教務とも日程調整を行いながら、そのような機会を今年度以上にとっていきたい。

校内研修のアイディア

- ・授業において、学習活動ソフトウェア(Sky menu class)を日常的に活用し、効果的であった場面について実践交流を行う。
- ・全体研修と日常的な意見交流を組み合わせ、教職員のICT活用における技術レベルに合わせて学ぶ。
- ・必要に応じて研修や意見交流をすることで、必要感をもって研修に臨むことができるようにする。
- ・学校研究とリンクしながらGIGA校内研修を行うことで推進を図る。
- ・研修の講師を推進リーダーだけでなく、他の教職員中から出すことにより、職員一人一人を生かす場にするとともに、推進リーダーだけに負担がかからないようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒などの意見を効果的に提示するための教師の指導力を高める。
- ・児童生徒が、学びに応じてICTの機能を選択し、情報収集、整理、表現、発信等に活用している。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・学校研究(研究主題、組織、計画等)について ・ねらい達成につながる授業実践の交流(通年随時)	研究	
5月	・国語科での学びを深めるためのICTを活用した授業づくりについて ・昨年度の実践紹介 ・デジタル活用研修	研究、二年担任 情報 教務	18日 提案授業(二年国語)
6月	・教科の学びを深めるための、ICTを活用した授業づくりについて	研究	10日 計画訪問
7月	・1学期の実践振り返り(児童生徒、教師) ・協力校との交流会	研究、情報 教務	
中間 目標	情報活用能力表をもとに、1,2年、3,4年、5,6,7年、8,9年をそれぞれステップ1~4とする。 ・ステップ1:コンピュータ起動や終了、写真撮影など基本操作ができる。 ・ステップ2:キーボードなどによる文字の入力方法が分かる。 ・ステップ3:キーボードなどによる文字の正確な入力ができる。 ・ステップ4:キーボードなどによる十分な速さで正確な文字の入力ができる。		
8月	・2学期の実践計画 ・教科別模擬授業 講師 茨城大学 小林 祐紀 先生 主任指導主事 藤岡 洋子 先生 他	研究、情報 研究	
9月			
10月	・研究授業指導案検討	研究	
11月	・公開授業模擬授業	研究	
12月	・研究発表会 ・実践のふりかえり(児童生徒、教師)	・研究、教務 ・研究、情報	・研究発表公開授業
中間 目標	・ステップ1:写真と文字を組み合わせて表現することができる。 ・ステップ2:手順を図示しながら表現することができる。 ・ステップ3:目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理ができる。 ・ステップ4:目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作ができる。		
1月	・3学期の取り組みの重点の確認	研究	
2月	・今年度の反省、年間指導計画の見直し	研究、教務	
3月	・来年度の研究方針について	研究、教務	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(東陵小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(堀大誠)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

毎月の職員会議後や研究全体会の機会を利用して月一回の校内実践交流会を行った。交流会では、それぞれのクラスや授業担当教員がひと月の実践を交流し合い、今後の授業での活用場面について話し合う場を設けた。夏季休業中に推進校の研究会に参加してもらい、具体的実践について知り、二学期からの指導に生かした。校内研修の充実により、共通実践できることが増え、使ってみようという教職員の意識が高まった。

課題

教員間で差がある。特に低学年、ベテラン教諭は使用頻度が低い傾向にある。教員同士で聞き合い、助けるようにしているが、差を埋めるまでには至っていない。また、小松市はICTサポーターが各校に配置されていないので、授業実践をしようと思っても、操作内容等を教員が一から摸索しなくてはならないので、準備に時間がかかったり、容易に取り組めなかったりする場合がある。

校内研修のアイデア

- ・月に一回程度、校内研修でICTを活用した授業実践の報告会と演習を実施する。うまくいった実践やうまくいかなかった実践を報告する。今年度はタブレットを持ち寄り、具体的操作を通した紹介をする。
- ・ICT機器が得意な教員は、苦手な教員にアイデアを共有する。共に高まっていこうということを共通理解する。
- ・夏季休業中に教員総合研修センターのGIGA出前サポートを依頼し、研修会を設定する。(事前に校内研修を実施し、課題に合った研修とする。)
- ・夏季休業を中心に新たな授業づくりの研修やその他のオンデマンド研修を利用し、各自で研修を進める。(ランチ研修を設定し、研修時間を確保する。)
- ・職員会議等ではできるだけタブレット端末を持ち参加し、資料は電子媒体にすることや、アンケートの作成、実施、集計にはできるだけタブレットを活用することを共通理解し、公務の中でもタブレットを活用する機会を増やし、慣れていく。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全教員が「児童が1人1台端末を活用して学ぶ授業」を週2回行うことを目指す。(全教員がSKYmenuClassの機能やファイル共有機能を利用し、意見を集約したり、全体に広げたりすることで対話的な学びを支援することができる。)
- ・全児童がタイピングの練習を行い、すらすら文字を打てるようする。
- ・高学年児童は、学習支援ソフトQubenaを帯タイムや家庭学習、授業等で活用する。(1日1回の活用を目指す。)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	GIGA校内研修年間計画作成 動画視聴提案 タブレット使用のルールについて確認	推進リーダー 教務	第一回GIGA校内研修推進リーダー研修会
5月	動画視聴による研修【個人研修】 実践報告会【交流会】 タイピング上達のための新アプリ使い方紹介 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー	第二回GIGA校内研修推進リーダー研修会
6月	実践報告会【交流会】 ICTサポーターによる端末操作説明会【全体研修】 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー	
7月	動画視聴による研修【個人研修】 実践報告会【交流会】 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー	
中間 目標	教員は授業で週2回活用する。→全教員が端末の基本操作を習得する(「カメラ」「発表ノート」「検索サイト」「文書作成」「プレゼン」「表計算」「アンケート機能」) 5,6年児童はタイピングの基礎を身につけている。 週1回持ち帰りQubena等を行う。		
8月	1学期の振り返りと2学期の取り組み確認【全体研修】 GIGA出前サポート研修【全体研修】 動画視聴による研修【個人研修】	推進リーダー 研究主任 サブリーダー	
9月	ICTサポーターによる端末操作説明会【全体研修】 実践報告会【交流会】 ランチ研修	推進リーダー 研究主任	第三回GIGA校内研修推進リーダー研修会
10月	実践報告会【交流会】 ICTを活用した授業整理会【全体研修】 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー	
11月	実践報告会【交流会】 ICTサポーターによる端末操作説明会【全体研修】 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー	
12月	2学期の振り返りと3学期の取り組み確認【全体研修】 動画視聴による研修【個人研修・全体研修】 ランチ研修	推進リーダー 研究主任 サブリーダー	
中間 目標	教員は授業で週2回活用する。→授業担当教員は主に学びを共有する場面で使ってみる。(グループ交流) 3,4年児童はタイピングの基礎を身につけている。 週末持ち帰りQubena等を行う。		
1月	実践報告会【交流会】 GIGA出前サポートによる校内研修会【全体研修】 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー	
2月	実践報告作成 ICT活用に関するアンケート【アンケート】 ランチ研修	推進リーダー サブリーダー 管理職	
3月	実践報告まとめ 次年度に向けての交流会【交流会】	推進リーダー	

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(能美小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(宮島 悠樹)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> 授業交流や意見交流がより盛んになった。 タブレットへの関心が高くなった。 全教員がタブレットの基本操作を獲得できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT精通者が不足している。 教員間における情報指導能力の格差がある。 教員が集まって研修をする時間が取れない。

校内研修のアイデア

【昨年度の反省】

- 教員を集めて研修を行う時間がない。
- 基礎的な操作ではなく、授業での活用場面や有効な方法を共有したい。
- 家庭への持ち帰り回数を増やす。

【今年度の研修】

- 月に1回、10分程度のTFT (Times For Teacher) を実施し、ICTを必要とする授業実践の共有を行う。
- 教員間での情報モラル指導の統一を行う。
- ICTを有効に活用した研究授業を見合う。
- GIGA推進ミーティングを毎月設定し、実施する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【授業】
ICTを活用したペア・グループでの学び合い活動を取り入れる。
→ICT活用による、考えを深め広げる対話的な学び合いの工夫を行う。

【基礎学力・基礎スキル】
授業外で、PC端末を使用したドリル学習・Qubena・文字入力アプリの実施。
→基礎学力・基礎スキルの定着を図る

【家庭】
積極的にPC端末を持ち帰る。
→自らの疑問について深く調べることや、自分にあった速度で学習が進み、学習意欲に繋がる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	現状把握(アンケート実施) GIGA推進ミーティング(毎月実施予定)	GIGAチーム	
5月	情報モラル/著作権の統一 基本操作(SKY MENU Class:発表ノート・配布など) ※希望者のみ TFT(10分)	GIGAチーム	
6月	基本操作(Teams) ※希望者のみ TFT(10分) 授業でのICTを使った学び合い	GIGAチーム 高学年	研究授業高学年
7月	基本操作(Qubena) ※希望者のみ TFT(10分)	GIGAチーム	
中間目標	タブレットの基本的な操作を身に付けることができ、能美小学校の情報モラルを統一することができる。		
8月	スマートスクール視聴	GIGAチーム	
9月	授業でのICTを使った学び合い TFT(10分)	GIGAチーム 低学年	研究授業低学年
10月	授業でのICTを使った学び合い TFT(10分)	GIGAチーム 高学年	学校訪問
11月	授業でのICTを使った学び合い TFT(10分)	GIGAチーム 中学年	研究授業中学年
12月	TFT(10分)	GIGAチーム	
中間目標	1人1台端末を活用して、考えを深め広げる対話的な学び合い活動の充実を図る。TFTを重ねることで、授業での有効な活用場面を探る。		
1月	TFT(10分)	GIGAチーム	
2月	TFT(10分)	GIGAチーム	
3月	現状把握(アンケート実施)	GIGAチーム	